

# スマートシティ推進施策について

---



2021年4月16日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

# スマートシティとはなにか？

- ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により **「手段」**
- 都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、 **「動作」**
- 持続可能な都市や地域であり、**Society 5.0の先行的な実現の場**である。 **「状態」**



スーパーシティを起点に全国共通的なデータ連携基盤の整備

連携

IT新戦略等に基づくデジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備の取組

# スマートシティの実現に向けた取組と課題

「誰も取り残さない」一人ひとりが最適なサービスを楽しむ都市や地域の実現を目指し、地方公共団体や大学、民間企業と連携し、次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくりを展開

上位目標

Well-Beingの向上を実現する都市や地域づくり<優良事例創出>

関係者の参画

【大学】  
地域や企業から投資を呼び込み、  
地域と大学の発展につなげる  
エコシステムの形成

【地方公共団体・地域】  
新たなスマートシティの  
取組手法の積極的導入

【民間企業】  
技術開発の加速  
・投資促進

主な課題  
(2021)

## 1. 自治体のデジタル化と連動したスマートシティ化の計画策定

- スマートシティの定義・要件の明確化、取組の評価指標の検討
- 自治体のデジタル化方針等に位置付け、ロードマップの検討開始（スマシ化、都市OS） など

## 2. 官民・大学連携によるスマートシティ推進の拠点づくり・人材育成

- スマートシティ・ガイドブックを活用した全国の都市・地域への取組の展開
- 官民連携PFの活動強化、地方大学との連携・人材育成策の検討、資金的持続性の検討 など

## 3. スマートシティ推進をけん引する好事例の創出

- 各府省連携によるスーパーシティ・スマートシティ実装、都市OSの社会実装の加速
- くらし（健康、子育て）・グリーン化（エネルギー、ゼロカーボン）など、各分野での事例発掘・横展開 など

## 4. 戦略的な標準活用による海外展開推進

- デジタル・インフラ分野の標準活用と海外展開との連携、共通アーキテクチャによる都市間データ連携の検証 など

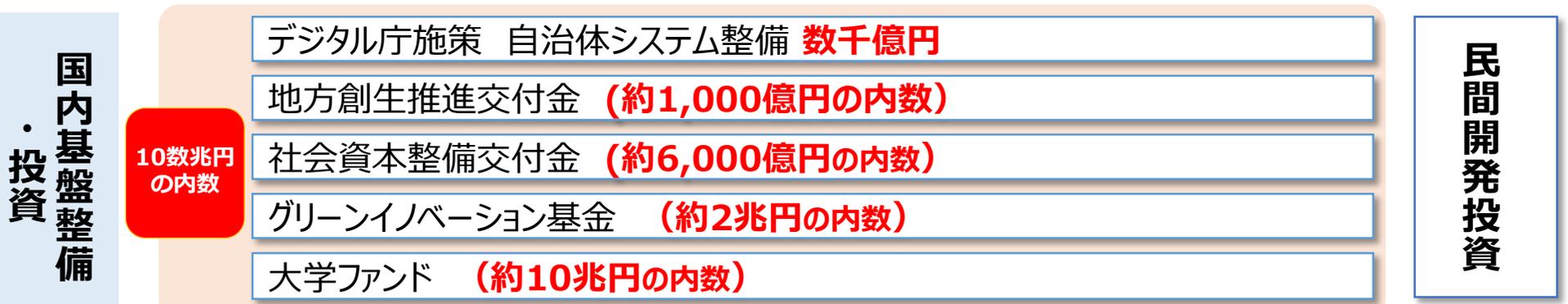
# スマートシティ推進の全体像

- スーパーシティを頂点に、多様な社会課題に対応できる **次世代のまちづくり**を計画的に推進
- スマートシティに採択された地域を中心に、**国内基盤整備との連携や、民間開発投資を呼込む**
- 世界のスマートシティ投資2～4兆ドル(推測) に対し、国内**優良事例の国際発信、海外都市開発への展開**



分野横断的な取組

個別分野での取組



10数兆円の内数

- 各スマートシティ事業の連携を、予算要求時点から深化し、アーキテクチャに基づくシステム構築等を開始。**今後より幅広い事業との連携を進める**
- R3年度事業では、スーパーシティへの集中投資、共通方針に基づく一体的実施等を通じた全国展開の推進。国・地方のデジタル・ガバメントの取組の加速を踏まえ、各府省の関連事業とのデータ連携の推進に取組む。さらに国際標準化等の取組を通じ、信頼できるスマートシティの確立と国際展開を推進。

◎全体戦略、制度整備 ◆統合イノベーション戦略2020【内(科技)】 ◆スーパーシティ構想【内(地創)】 ◆官民ITS構想・ロードマップ2020【内(IT)】

①地域実装/  
モデル事業

分野横断の  
実証・実装

- ◆【内(地創)】スーパーシティ構想推進事業 10.03億円(3.0億円)\* ※うちR3予算3.0億円、R2補正7.03億円
- ◆【内(地創)】未来技術社会実装事業等 0.8億円(0.8億円)
- ◆【総】データ連携促進型スマートシティ推進事業 6.9億円(2.2億円) ※うちR3予算5.8億円、R2補正1.1億円
- ◆【文】共創の場形成支援 137億円の内数(138億円の内数)
- ◆【総】課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証 60.0億円の内数(43.8億円の内数)
- ◆【国】スマートシティ実証調査等 5.8億円(2.25億円) ※うちR3予算2.8億円、R2補正3.0億円
- ◆【国】スマートアイランド推進実証調査事業 2.4億円(1.0億円) ※うちR3予算1.5億円、R2補正0.9億円
- ◆【環】ゼロカーボンシティの実現に向けたシナリオ等検討支援 8億円の内数(新規)

個別分野の  
実証・実装

- ◆モビリティ分野
  - ・【経】無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業 57.2億円の内数(50億円の内数)
  - ・【国】日本版MaaS推進・支援事業 305.97億円の内数(9.06億円) ※うちR3予算1.0億円、R2補正304.97億円の内数

②共通基盤の  
構築・標準化

データ連携基盤整備

- ◆【内】SIPⅡ期ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術 280億円の内数(280億円の内数)

標準活用推進

- ◆【内】標準活用戦略の整備・加速化支援 12.6億円の内数(-) ※うちR3予算1.5億円、R2補正11.1億円

関連の都市インフラ整備

- ◆【国】社会資本整備総合交付金等 7,277億円の内数(7,627億円の内数)等

ICTインフラの地域展開

- ◆【総】高度無線環境整備推進事業 568.7億円(52.7億円) ※うちR3予算36.8億円、R2補正531.9億円
- ◆【総】携帯電話等エリア整備事業 15.1億円(15.1億円)

③官民連携

- ◆【内・総・経・国】官民連携プラットフォームの運営

④国際展開

- ◆【内】グローバル・スマートシティ・アライアンス
- ◆【総】ICT国際競争力強化パッケージ支援事業 15.3億円の内数 ※うちR3当初3.3億円、R2補正12.0億円(14.3億円の内数)
- ◆【経】エネルギー分野における我が国技術の国際展開のための実証事業 70.2億円(85.0億円)
- ◆【経】質の高いインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業 7.5億円(7.5億円)
- ◆【国】新たなグローバルチャネルの構築(質の高いインフラ等の効果的な情報発信)および海外インフラプロジェクトの案件形成・受注獲得の促進 0.3億円の内数(0.4億円の内数)
- ◆【国】スマートシティ海外展開推進事業 7.0億円の内数(-) ※R2補正
- ◆【国】スマートシティ開発案件の推進 2.1億円の内数(2.1億円の内数)

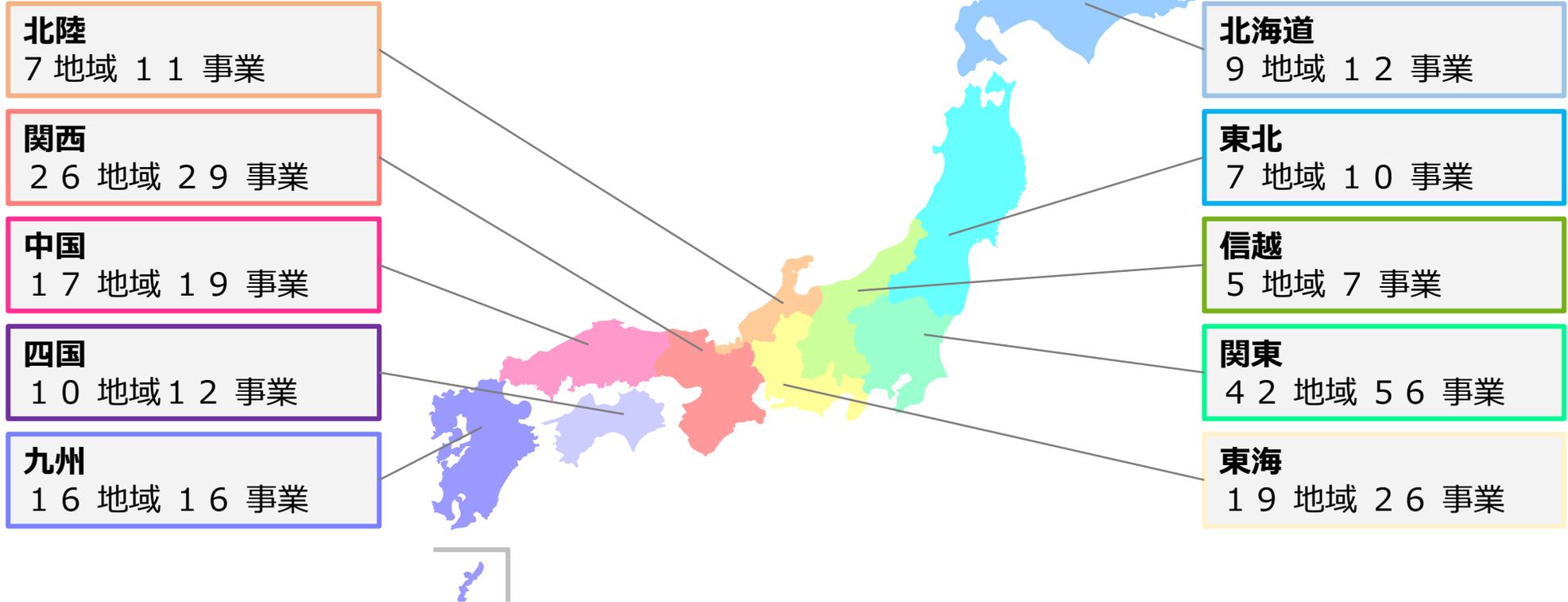
\*【内】地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)(1,000億円の内数)との連携を強化

<凡例>【内(IT)】:内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室、【内】:内閣府、【内(科技)】:内閣府科学技術・イノベーション担当、【内(地創)】:内閣府地方創生推進事務局、【総】:総務省、【経】:経済産業省、【国】:国土交通省

# (参考) 国内のスマートシティ関連事業

H29～R2に**約160**地域で**約200**事業の実証実施

**23**地域で実装進行中  
(R2年9月時点)



対象事業	H29	H30	H31/R1	R2
内閣府		近未来技術等社会実装事業(14事業)	近未来技術等社会実装事業(8事業) SIPサイバー/アーキテクチャ構築・実証研究事業 (1事業)	未来技術社会実装事業 (12事業)
総務省	データ利活用型スマートシティ推進事業(6事業)	データ利活用型スマートシティ推進事業(3事業)	データ利活用型スマートシティ (5事業)	データ利活用型スマートシティ推進事業 (5事業)
経済産業省			パイロット地域分析事業(13事業)	自動走行車等を活用した新しいモビリティサービスの地域実証事業 (16事業)
国土交通省		スマートシティ実証調査 (2事業)	新モビリティサービス推進事業(19事業) スマートシティモデル事業 先行モデル(15事業)、重点化PJ(23事業)	日本版MaaS推進・支援事業 (38事業) スマートシティモデルプロジェクト (7事業)

# スマートシティの普及展開と持続的活動を担う次世代人材の育成(R2-R3)

スマートシティの実現に必要な基礎知識・専門知識を整理し、企画・構築・運用に携わる人々の共通的な理解を促すとともに、役割・レベルに応じた人材の育成方法を検討

先導者向け

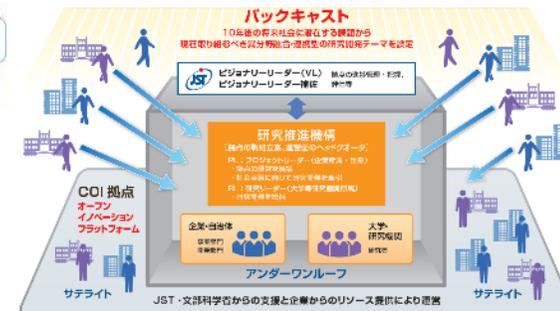
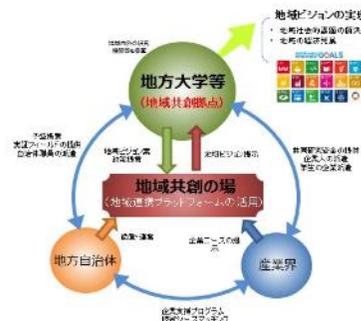
## アーキテクト育成プログラムの検討

スマートシティにおいて全体設計をコーディネートする先導的人材の育成

地域での実践者向け

## 産学官連携拠点での活動

地域における実証・実装を通じた人材の育成  
例：地方大学等を核とした共創の場形成支援  
(地域共創分野、COIプログラム等) 等



## 官民連携プラットフォームを通じた知識・知見の共有

- ・分科会での議論を通じた共通理解
  - ・地方公共団体、地域協議会向けに参照いただく
- 「スマートシティ・ガイドブック（新版）」の作成・展開

(2021年4月公表)



導入者向け

## 一般向け普及促進セミナー 等

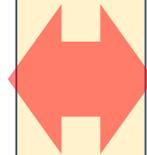
# (参考) スマートシティ・ガイドブックの作成 (2021年4月公開)

- スマートシティに取り組む地方公共団体、協議会等を支援するため、先行事例等を踏まえつつ、スマートシティの意義・必要性、導入効果、及びその進め方等について、ガイドブックとしてとりまとめ
- 検討会および官民連携PFのガイドブック分科会を設置し、双方の議論をガイドブックに反映

## ガイドブック検討体制

### スマートシティガイドブック検討会 (2021年1月～3月まで4回開催)

東 博暢	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
石田 東生	筑波大学 名誉教授<座長>
川島 宏一	筑波大学 システム情報系 教授
越塚 登	東京大学大学院 情報学環 教授
穴戸 常寿	東京大学大学院 法学政治学研究科 教授
中川 雅之	日本大学 経済学部 教授
日高 洋祐	(株)MaaS Tech Japan 代表取締役
南雲 岳彦	(一社)スマートシティ・インスティテュート 理事
脇坂 大介	(一社)日本経済団体連合会 産業政策本部 主幹



### スマートシティガイドブック分科会 (スマートシティ官民連携プラットフォーム)

- ガイドブック分科会を官民連携PFに設置し、現場の取組事例や課題、知見などを収集し、ガイドブックに反映
- 分科会の会合の他、意見収集には(一社)コード・フォー・ジャパンの協力のもとオンラインツール「Decidim」も活用

#### 分科会参加メンバー 計78団体123名



#### <地方公共団体> 15 県市

会津若松市、宇都宮市、岡崎市、加賀市、加古川市、柏市、さいたま市、札幌市、四條畷市、静岡県、高松市、浜松市、藤枝市、松山市、前橋市

#### <民間企業・大学等> 58 団体

## ガイドブック構成

### STEP 1

#### 「スマートシティって何?」という方は

##### 第1章 スマートシティの基本的考え方

スマートシティの定義や効果、スマートシティに取り組む上でのコンセプトをご紹介します。

##### 別冊スマートシティを通じて提供されるサービス

全国のスマートシティの取組事例について、取組分野別にご紹介しています。ご自身のまちでも取り組んでみたい事例を探してみてください。

### STEP 2

#### 「スマートシティをやってみたいけど、 何から始めれば?」という方は

##### 第2章 1. スマートシティの進め方

実際のスマートシティ事業における検討の手順・プロセスを、実際の取組事例を交えながらご紹介しています。

### STEP 3

#### 「スマートシティを進めているけど、 困っている点がある」という方は

##### 第2章 2. 進める上でのポイントと 対応の考え方

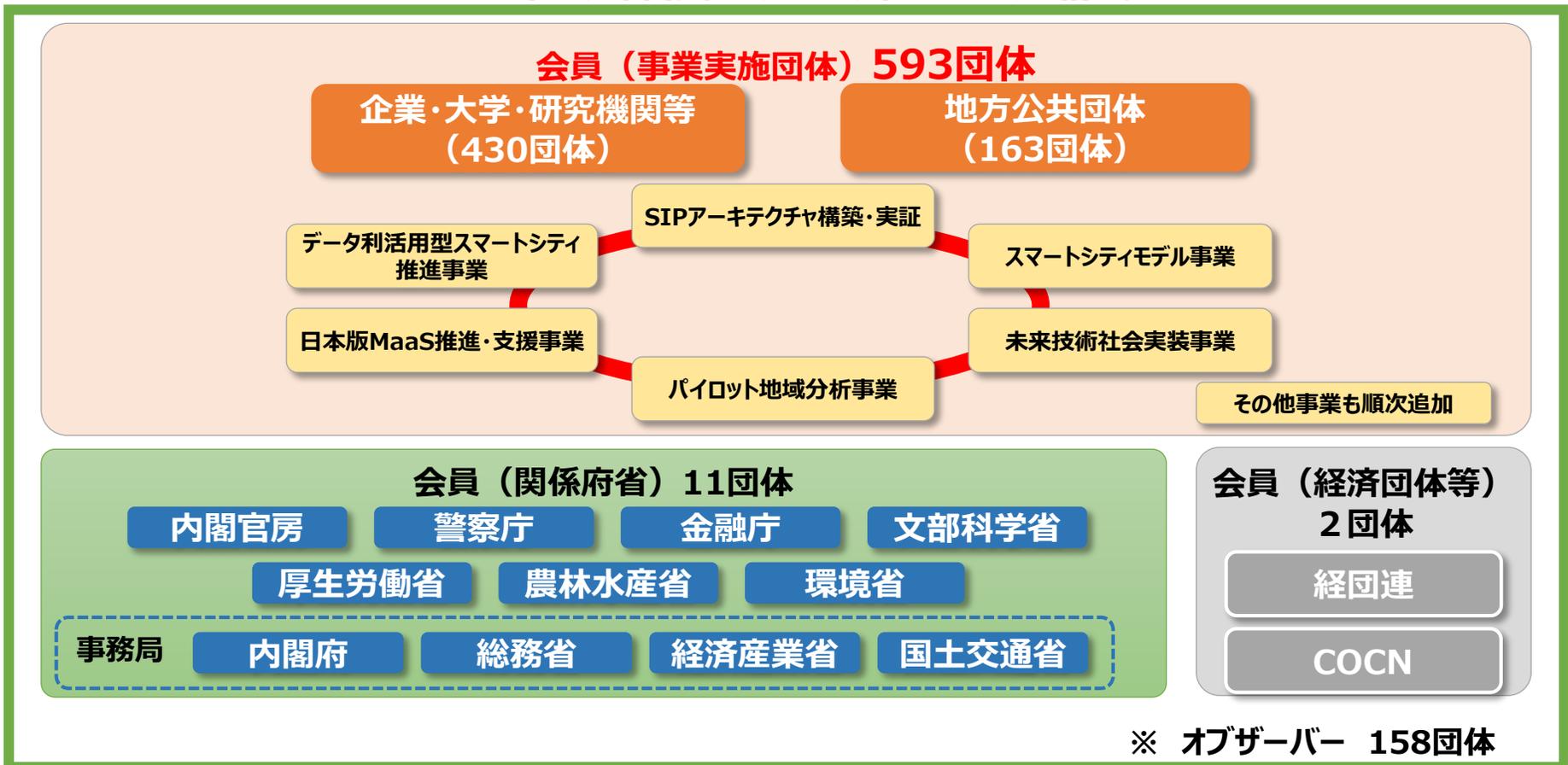
スマートシティを進める上での主な課題(推進体制、資金的持続性、市民参画、都市OS導入、KPI)について、取組む上でのポイントを事例を交えながらご紹介していきます。

# (参考) スマートシティ官民連携プラットフォームの概要

- 2019年8月、内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省は、スマートシティの取組を官民連携で加速するため、**企業、大学・研究機関、地方公共団体、関係府省等を会員とする「官民連携プラットフォーム」**を設立。
- 会員サポートとして、①事業支援 ②分科会 ③マッチング支援 ④普及促進活動 等を実施。
- **各地域のスマートシティ推進の支援拠点づくりや次世代に向けた人材育成につなげる**

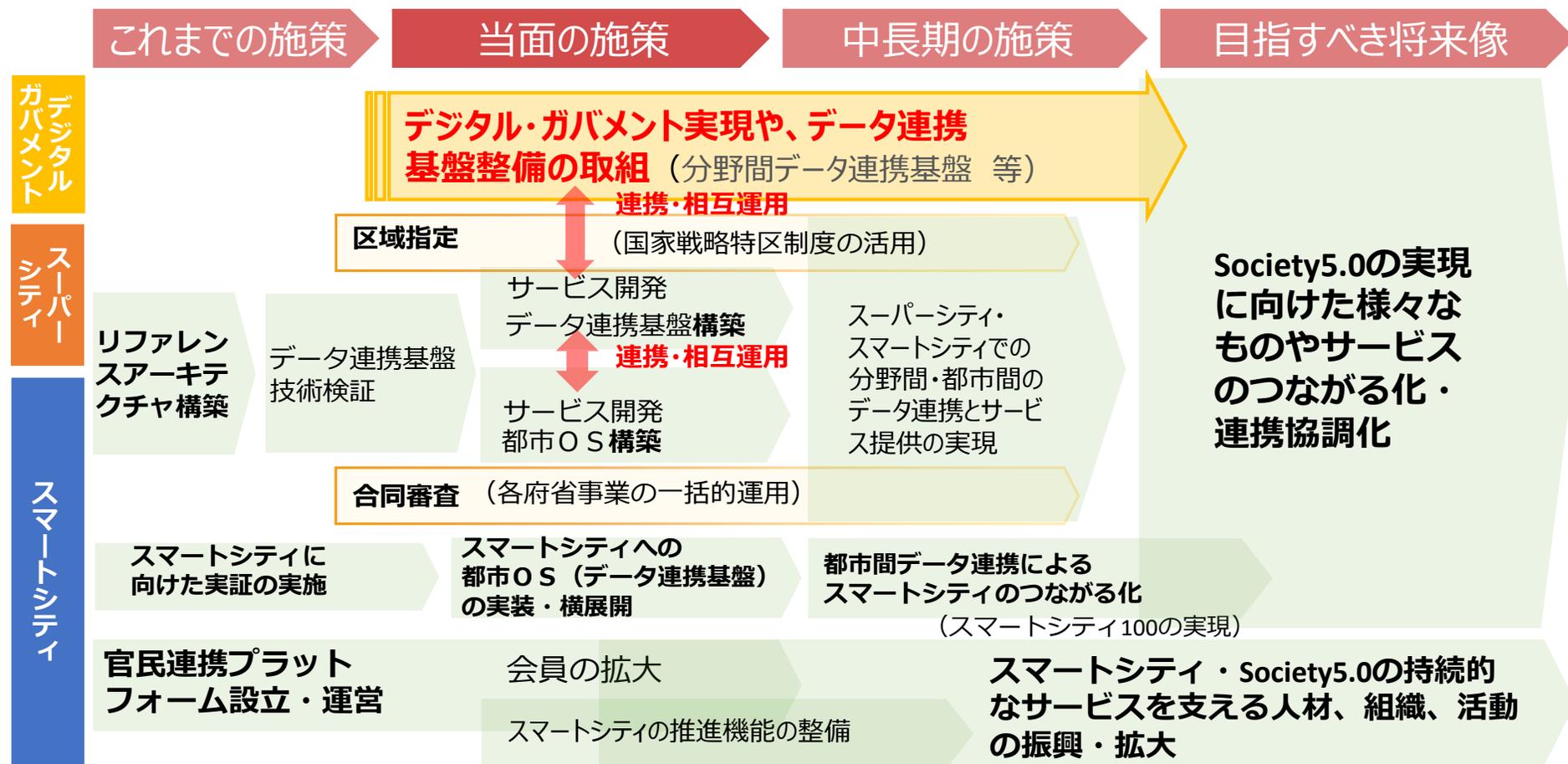
## スマートシティ官民連携プラットフォームの構成

※会員数は令和3年3月末時点



# スマートシティ・Society 5.0実現に向けた中長期の取組

- ・2021年度からスーパーシティのデータ連携基盤を構築、他都市の都市OSや分野間データ連携基盤とも**連携・相互運用に着手**
- ・**スーパーシティを起点に、広域連携・多核連携により 約100地域での計画的な実装を目指す**



スマートシティに向けた**実証の段階**  
 (個別地域のデジタル化・データ活用の取組)

スマートシティの**実現**  
 (分野間・都市間のデータ連携とサービス提供)  
 (スマートシティにおける推進機能)

**Society5.0の実現の段階**  
 (社会の様々なものやサービスのつながる化)

# (参考) R2-3年度のスマートシティの推進に向けた取組

2020年度							2021年度					2022年度			
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10-12月	1-3月	4-6月

